

行政評価シート【分野別施策】

分野別施策 3 -

生涯学習や文化芸術活動を推進する

目指す姿

- 生涯学習の環境や伝統芸能に触れる機会が充実している中、講座や地域での体験活動において幅広い世代の人たちが学び・交流し合い、知識や技能を次の世代につないでいます。
- 多様な文化芸術活動が活発に行われるとともに、触れる機会が確保されており、誰もが豊かな感性を持ってうるおいある時間を過ごしています。

成果指標の達成状況

指標名	実績値					目標値
	計画 策定時	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2027 年度
各種講座・講習会 ¹ への参加者数	31,337 人	37,499 人				41,700 人
文化芸術ホール主催事業の参加者数	24,684 人	24,147 人				26,000 人

1 社会教育課、中央公民館、中央図書館、博物館、美術館が実施する事業のこと。

施策の推進に向けた主な取組の「成果」

- ・地域の歴史再発見活動団体の支援や史跡説明板等の修繕など歴史・文化を伝える事業を展開し、地域への愛着醸成や地域づくりにつながる取組を進めました。
- ・「ひらつか民俗芸能まつり」では、守り伝えられてきた郷土の民俗芸能を披露したほか、囲碁文化の普及と振興のため、囲碁まつりや女流棋聖戦の誘致、各種囲碁大会・教室等を開催しました。
- ・文化芸術ホールを拠点として、様々な文化芸術に触れる機会を創出するとともに、多くの交流が生まれ、平塚駅周辺地区や市内外に広がるにぎわいを創出しました。また、博物館では、特別展3回、博物館文化祭を開催したほか、美術館では企画展3回、特別展5回開催し、市民が文化芸術に触れる機会を充実させました。
- ・文化教養や現代的課題、生活課題等を取り上げた多様な学習機会を提供するとともに、地域活動サポート人材登録制度を周知し、地区公民館の講座や利用団体の活動において、登録人材を活用した事業を実施しました。
- ・「地域に根ざした持続可能な開発のための教育」(ESD)の取組を意識した事業を実施しました。また、四之宮公民館の新築工事が完了し、令和7年1月から供用を開始しました。

施策を推進する上での「課題（・）」と、課題解決を図るための「取組方針（ ）」

- ・地域の自然や文化・美術への関心を高めるとともに、無形文化財保持者、囲碁文化の担い手となる人材確保及び育成が必要となります。
特別展や普及体験事業、ワークショップの開催及び魅力あるウェブコンテンツの開発に注力し、地域の自然や文化に関する市民の知的欲求に応え、気軽に活動できる機会を提供するとともに、演技技術の維持向上や各種囲碁教室等の開催により、新たな後継者を確保、育成します。
- ・文化芸術ホールを、文化芸術及びにぎわい創出の拠点として活用する必要があります。
文化芸術に触れる機会及び平塚駅周辺地区や市内外に広がるようなにぎわいを創出するための取組を推進します。
- ・年齢層や地域課題に合った講座の展開、市民の課題解決意欲を高める必要があります。
社会情勢や市民ニーズを把握するとともに、課題を自分事と捉えられる人材や意識を育てるため、E S Dの取組を意識した事業を展開します。

関連事業

ふるさと歴史再発見事業、エコ・ミュージアム推進事業、無形文化財保護事業、囲碁文化振興事業、博物館教育普及活動推進事業、博物館特別展事業、魅力ある美術展覧会事業、美術教育の普及・体験事業、平塚文化芸術ホール管理運営事業、地域の人材発掘・活用事業、地区公民館整備事業、図書館アウトリーチサービス事業、多様な学習推進事業

決算額

	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
事業費（千円）	649,335			